

寺報

令和2年(2020)正月号第141号(1)

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
TEL 024(548)1240
FAX 同上
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>
e-mail info@choshuin.jp/

編集責任・渡辺 祥文



参憲力生 帰山 撮影・丹治 勤氏

恭賀賀新禧

専ら祈る所は

正法興隆 修道無難
国土安穩 万邦和平

特に祈る所は

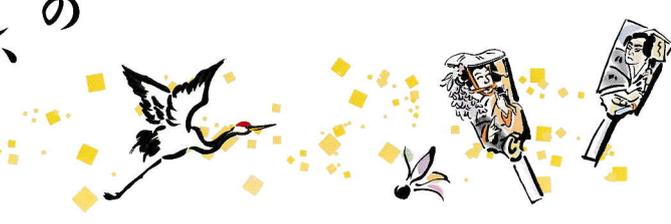
福寿長久 子孫繁栄
諸災消除 諸縁吉祥

新型コロナウイルス感染症の
早期収束・終息を祈願祈禱し、
皆様の健康と無事を念じ、あわせて
本年のご多幸を心より祈り上げます

仏紀二五八七年
邦曆令和三年
西曆二〇二一年

元旦

山
祥
拝





本宮あたり 撮影：丹治雅智氏



撮影：丹治雅智氏

秀憲力生

りきしろう

帰山

帰山行脚を終え、十一月二十三日帰福

永平寺―北陸(国道八号)―新潟(国道四十九号)
―本宮(国道四号)―帰山

謹賀新年

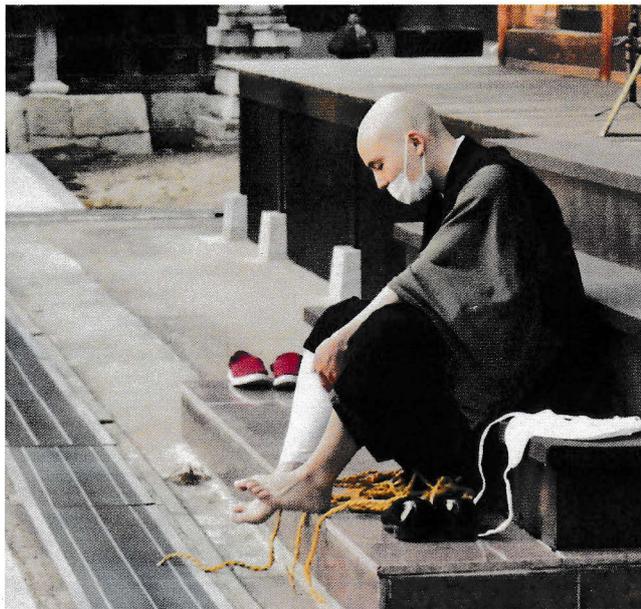
皆様の御多幸を念じ上げます

令和二年十月二十三日の私の帰山の折には
多くの方々のお出迎えを頂き誠に有難う
ございました。

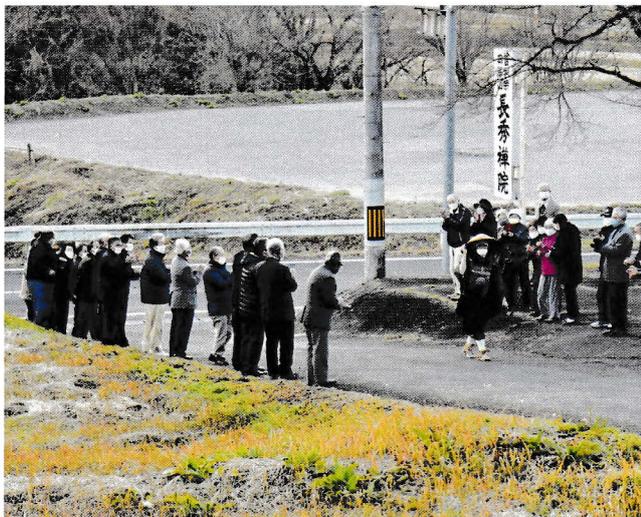
お励しとお心に育えるよう、今後も精進
してまいりますので、何卒宜しくお願ひ
申し上げます。

令和三年 元旦

長秀院徒弟 祥徳 秀憲 拜



草履を脱ぐ 撮影：丹治 勤氏

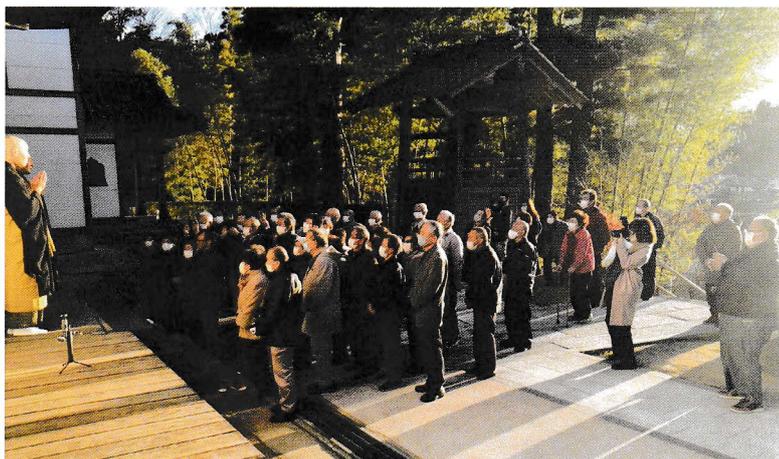


前号でお知らせいたしました通り、弟子秀憲は、十一月四日永平寺様より帰山行脚を行じ福島にもどつてまいりました。

当日十一月二十三日午後は寒くなりましたが、仲興寺・長秀院でそれぞれ檀中の皆様のお迎えを頂きました。

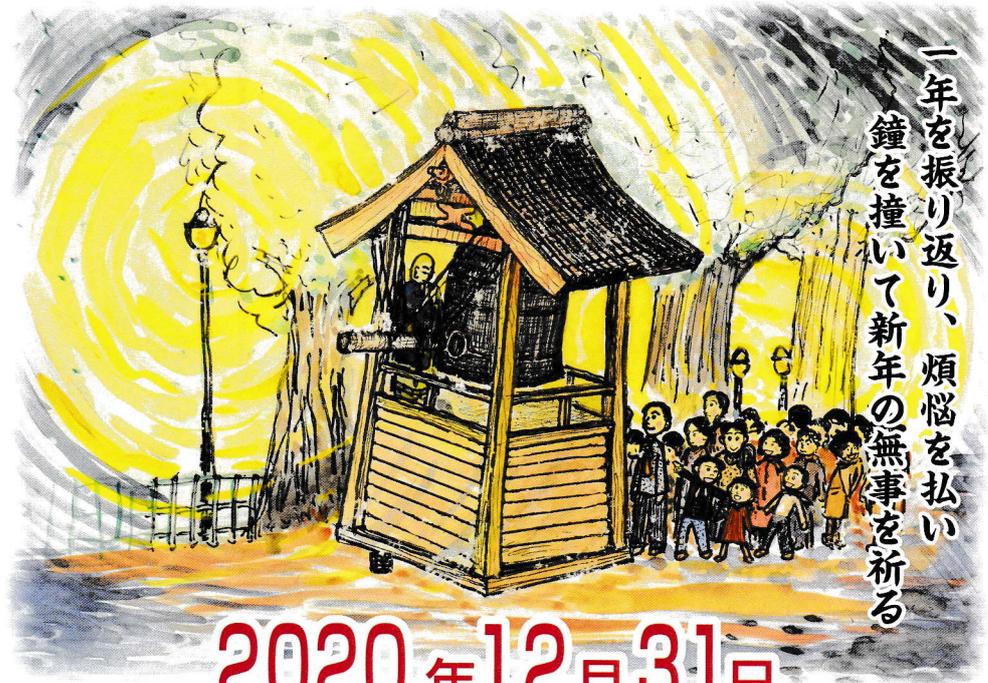
平成三十年の三月にわらじのひもを結んで出立しましたが、二年九ヶ月後の十一月に帰山しわらじのひもを解きました。今後は、精進を重ねさせ、皆様のご期待に応える僧侶となるようつとめさせます。誠に有難うございました。

十九世 智徳祥文 拜



撮影：渡辺徳子

除夜の鐘



2020年12月31日

午後11時30分打出し

マスク着用にて、係の誘導に従って下さい。
誘導に従って撞いていただきますので宜しくお願
いいたします。

行事案内

★長秀院

十二月三十一日 午後十一時三十分

除夜の鐘打出し

元旦 午前零時三十分

元朝祈禱

★仲興寺

元旦 午前十時

元朝祈禱

以降 一月中、年始回礼

年頭回礼だけでは間に合わな
くなってまいりました。つきま
しては、年末にご挨拶申し上げ
るお宅もでてまいりますので、
何卒宜しくお願ひ申し上げます。

おねがい

年始回礼中は不在となり
ます。ご相談等の場合はご来
山前に確認をお願いいたし
ます。

電話〇二四一五四八―二四〇
FAX 右同

年回正当

年回正当のほとけ様方のご
命日をご確認ください。ま
た、ご連絡と貼り出しをご
覧頂きますよう、お願いい
たします。

年回表

一周忌	令和二年(二〇二〇)
三回忌	平成三十一年(二〇一九)
七回忌	平成二十七年(二〇一五)
十二回忌	平成二十一年(二〇〇九)
十七回忌	平成十七年(二〇〇五)
廿二回忌	平成十一年(一九九九)
廿七回忌	平成七年(一九九五)
卅三回忌	昭和六十四年(一九八九)
卅七回忌	昭和六十年(一九八五)
五十回忌	昭和四十七年(一九七二)
百回忌	大正十一年(一九二二)
百五十回忌	明治五年(一八七二)
二百回忌	文政五年(一八二二)
二百五十回忌	明和九年(一七七二)
三百回忌	享保七年(一七二二)
三百五十回忌	寛文十二年(一六七二)
四百回忌	元和八年(一六二二)

福島市新型コロナウイルス感染症について警報

各種行事についてのお願い

令和二年十二月二十日、福島市において新型コロナウイルス感染症に関する病院等における大規模クラスター発生による福島市長の会見がありました。「警報」という発表でありましたが、たいへん厳しい状況に入ったことを感じました。翌二十一日には福島県知事の会見においても「県北を中心に厳しい状況」の説明がありました。年末年始の不要不急の外出を避けて欲しい旨の内容でした。「もう隣の人にも感染が広がっているという

気持ちで引きしめなければならぬですね」という方々が多くなりました。まさにその通りであると思います。

各種行事について

役員会等は中止とさせて頂きました。また、除夜の鐘等は、行ないますが、最大限の注意のもと、場合によっては山内だけで行う場合もあります。また年始回礼については、住職と弟子で回りますが、郵便ポスト等を利用して頂きます。

す。

全て流動的な状況ですが、福島市の状況が厳しい以上仕方ないことであり、感染防止という生命を守ることを優先いたします。

また来山の皆様には、他寺院同様しばらくお茶の接待はひかえさせて頂きますので、何卒ご容赦下さるようお願い申し上げます。

令和二年十二月二十二日

長秀院 住職
仲興寺兼務住職

渡辺 祥文 拝